

令和4年2月 文書質問及び回答

1 質 問 者 春日隆司議員

2 質問事項 脱炭素の取り組みについて

質問の内容・要旨	回答
<p>道内初の「ゼロカーボン宣言」は、令和2年3月古平町が行いました。(1月31日現在31市町村が宣言)</p> <p>私は、これを前後して、リーダシップを發揮し、町における脱炭素化と持続可能な地域づくりを同時に進める取組の継承と進化を、内外に宣言する「ゼロカーボン」等の取組の提案や提言をしてきました。これに対しまして、これまで町長は「既存の計画内で対応する」とのことでありましたが、この度、宣言を行い、具体的な施策に取組んでいくことを表明されました。そこで、質問いたします。</p> <p>① 方針・スタンス変更の発意者と事由は。</p> <p>② 後塵を擣することや森林・バイオマスを基軸とする町の特性から、「ゼロカーボン宣言」からひとつ歩を進め、CO2排出量を実質マイナスまで持っていく、「カーボンネガティブ」を目指すことを宣言してはどうか。(全国での例有)</p> <p>※ 実質排出量ゼロとは:CO2などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。</p> <p>③ 宣言は、関係機関(町・議会・産業界・公区等)総意のもとで地域一体で行ってはどうか。(全国初)</p> <p>④ 森林組合事務所がZEB、ZEB Readyの認定を受けることから、今後、公共施設も同様に認定を受けるとの理解でよいか。認定の取組は組合の発意か、町の主導か。</p> <p>※ ZEB Ready(ゼブレディ)とは:ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を見据えた先進建築物として、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物。</p>	<p>① 「ゼロカーボン宣言」につきましては、1月末現在で、40都道府県、319市、15特別区、134町、26村で宣言されるなど、全国、道内、近隣など多くの自治体で宣言がされており、上川町村会で宣言に向けた意思統一が図られていることから、私が宣言をする判断をしたところです。</p> <p>宣言を行うことで「ゼロカーボン(脱炭素)」の実現に向けた実質的なスタートを切るものと考えております。</p> <p>なお、宣言につきましては、3月定例会議において行政報告での宣言を予定しております。</p> <p>② 今後、「ゼロカーボン実行計画」の策定を予定していることから、策定議論の中で、「カーボンネガティブ」宣言についても、議論し検討してまいります。</p> <p>③ 策定する「ゼロカーボン実行計画」の策定議論で、町民、議会、産業界、公区等のご意見を踏まえ、具体的な「ゼロカーボン(脱炭素)」の取組を進めてまいりたいと思います。</p> <p>④ 森林組合事務所の認定につきましては、今後のゼロカーボンの取組など時代潮流等も踏まえて、組合と町の協議の結果、認定を受けることとなったものであります。今後、公共施設の整備等において、可能な限り「ゼロカーボン(脱炭素)」の実現に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えており、その中でZEB、ZEB Readyの認定等も検討してまいりたいと思います。</p>